

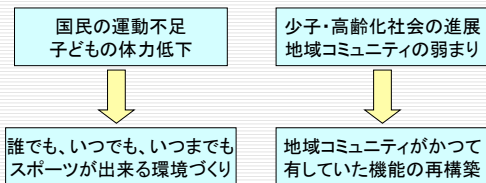
## 総合型地域スポーツクラブの水泳指導を考える

鳴門教育大学大学院  
生活・健康系(保健体育)コース  
山口健太

## 総合型地域スポーツクラブでは

- いくつかの種目
- レベルや興味に応じて
- 住民の主体的な運営
- すべての世代の人々が近隣の学校や公共スポーツに親しめる

## 総合型地域スポーツクラブとは



## 総合型地域スポーツクラブ

- 放課後、学校週5日制の子供たちの受け皿
- 地域におけるスポーツ振興
- 健康の保持増進、体力の向上
- 人間関係の再構築(地域教育力の再生)
- 家族のふれあいや世代間交流による青少年の健全育成

## 鳴門教育大学と地域スポーツ

- 陸上競技部 陸上教室
- 創作ダンス部 アワー「いきいきリズム運動」教室
- 個人単位



県政だよりアワーとくしま10月号より

## 総合型地域スポーツクラブの 水泳指導と鳴門教育大学

- 水泳教室開始時  
鳴門教育大学プールで実施
- 昨年  
林崎小学校プールで実施

## 昨年参加した活動

期間: 2008年8月4・5・6日

場所: 鳴門市内の小学校プール

対象: 鳴門市内の小学校低学年・幼児

指導者:

総合型地域スポーツクラブ運営スタッフ1名

大学教員1名

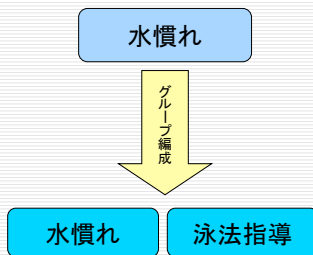
小学校教員1名

鳴門教育大学水泳部員3名

## 指導するにあたって

- 水に親しむ  
→ 安心して水中で活動出来る
- きまりを理解する  
→ 安全に水中で活動出来る
- 水の中での活動を楽しむ  
→ 水泳が好きになる
- 上手に泳げるようになる  
→ 水泳技能の習得・向上

## グループ分け



## 指導内容

- 水慣れ
- けのび
- 腰掛キック
- 壁キック
- 板キック
- グライドキック
- 面かぶりキック
- 面かぶりクロール
- クロール
- 呼吸法

## 体験を通して

- 子どもたちに水泳を教えるという貴重な経験が出来てよかった。
- 低学年同士でも水慣れの程度には差があることがわかった。
- 学年がバラバラの子どもたちをグループ化して指導するのは難しいと思った。

## 今後の課題

指導者として

- 対象・人数・施設・期間に応じて適切な指導を行える力を身につける
- 水泳指導に関する知識の獲得と豊富な実戦経験を積む

クラブとして

- プログラムの明確な目的・目標の設定
- 実施場所・指導者の確保